

斐伊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、斐伊川水系においても、事前防災対策を進める必要があります。
- 砂河川である斐伊川は、河口部等の下流域に土砂が堆積しており、典型的な天井川を形成していることから、一度氾濫が発生すると被害が甚大化するおそれがあります。また、中海と宍道湖を結ぶ大橋川は、断面が小さく水はけが悪いことに加え、周辺は低平地のため氾濫した場合、浸水被害が長時間継続するおそれがあるといった特徴があります。昭和47年7月洪水により、松江市街地が一週間にわたり浸水被害が発生したこと等を踏まえ、大橋川改修や内水対策等の事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して、家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信等の取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

The map illustrates the Fei River Basin (斐伊川流域) in Japan, spanning parts of Shimane Prefecture (島根県), Tottori Prefecture (鳥取県), and Kochi Prefecture (高知県). Key features include the Fei River (斐伊川), the Otsuchi Lake (宍道湖), and the Nakaumi Sea (中海). Projects highlighted include:

- Riverbed Widening and Embankment Strengthening:** Various projects are shown along the river and lakes, such as the Fei River (河道拡幅・堤防整備), Otsuchi Lake (河道拡幅・河床掘削・堤防整備), and Nakaumi Sea (河道拡幅・堤防整備).
- Drainage Pumping Stations:** Projects like the Nakajima Pumping Station (中村排水機場 (新設)) and the Nakashima Pumping Station (布崎排水機場 (改修)) are indicated.
- Water Management Structures:** The Tsurumaru Dam (鶴丸ダム) and the Oshimizu Dam (志津見ダム) are shown.
- Land Use Planning:** A box shows the "Planning of Land Use Change" (立地適正化計画の策定) and its "Proposal for Disaster Prevention Guidelines" (防災指針の検討イメージ).
- Education and Awareness:** A box shows "Disaster Prevention Education Support" (水防災教育支援) and "Training for Residents and Businesses" (防災学習等を通じた地域住民・企業等への意識啓発).
- Infrastructure:** A box shows "Infrastructure for Flood Control" (下水道等の排水施設の整備) and a "Rainwater Pumping Station Image" (雨水ポンプ場の整備イメージ).
- Scale and Labels:** A scale bar indicates distances from 0 to 20 km. Labels include town names like Matsue City (松江市), Yonago City (米子市), and Yonago Port City (境港市).

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防（湖岸堤含む）整備、河床掘削、河道拡幅、堤防強化対策、河道付替、放水路整備、水門整備、排水ポンプ増設、樹木伐採
- 農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修等
- 下水道等の排水施設（雨水管渠、雨水ポンプ場等）の整備、雨水ポンプ場整備（ポンプ増設、耐震化）
- 利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、島根県、中国電力（株）等）
- 砂防設備、急傾斜地崩壊対策施設、地すべり対策施設の整備
- 治山対策、森林整備（国、機構、県、公社、市町、林業事業体）

●被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災学習、出前講座、研修、訓練等を通じた地域住民・企業等への意識啓発
- マイ・タイムラインの普及促進
- 各種ハザードマップの作成・更新
- まるごとまちごとハザードマップの推進
- 水害リスクの高い危険な箇所の点検と周知
- 情報配信ツールを活用した防災情報の提供（伝達手段の多重化）
- 感染症に配慮した避難所環境の整備
- 地域防災体制の構築支援
- 水位計・監視カメラの設置
- 高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表 他

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大橋川改修（松江市東津田地区）

昭和47年7月豪雨
松江市など約70km²が1週間以上浸水
死者12名、浸水家屋約25,000戸

松江市 大正町通り

斐伊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

○ 斐伊川水系では、昭和47年7月洪水を契機に上流、中流、下流の流域全体で治水を負担することとし、上流の尾原ダム・志津見ダム、中流の斐伊川放水路が完成し、斐伊川治水3点セットの総仕上げとして、下流の大橋川改修と湖岸堤整備等を推進しており、これにあわせて国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

松江市街地での浸水被害を防止・軽減するため、大橋川改修を実施。あわせて、近年被害が頻発している中海の湖岸堤整備を実施。

また、下水道等の整備、防災指針の策定を推進し、ソフト対策として、マイ・タイムラインの普及促進、ハザードマップの更新等を実施。

【中長期】

引き続き、大橋川改修、中海湖岸堤整備を推進するとともに、斐伊川の堤防強化、宍道湖の湖岸堤整備等を実施。

あわせて、農業水利施設の整備、治山・森林整備等を推進するとともに、ソフト対策として、防災学習等の推進、住民等への情報伝達手段の多重化等を実施。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	大橋川改修、中海・宍道湖湖岸堤整備、斐伊川堤防整備・堤防強化	中国地方整備局	大橋川狭窄部の拡幅(下流) 中海湖岸堤整備(短中期箇所) 斐伊川本川堤防整備	大橋川狭窄部の拡幅(上流) 宍道湖・中海湖岸堤整備(中長期箇所) 斐伊川本川堤防強化
	河道拡幅、河床掘削、堤防整備、河道付替	鳥取県、島根県	河道拡幅・河床掘削・堤防整備等(短中期箇所) 河道拡幅・河床掘削・堤防整備・放水路整備、樹木伐採等(中長期箇所)	
	排水ポンプ・雨水ポンプの整備、雨水管渠整備、普通河川の拡幅・浚渫等	島根県、米子市、境港市、松江市、安来市、雲南市	雨水管渠整備(安来市) 排水ポンプ増設(島根県) 普通河川の拡幅・浚渫等(短期箇所)	ポンプ増設・耐震化(安来市) 雨水ポンプ場整備(境港市)、雨水管渠整備(松江市) 普通河川の浚渫等(中長期箇所)
	農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修等	中国四国農政局、島根県		排水機場の改修等(農政局) 排水機場の更新(農政局)、農業水利施設整備(島根県)
	治山対策・森林整備	近畿中国森林管理局、森林研究・整備機構、島根県、島根県林業公社、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町、林業事業体		流域内(国有林整備、水源林整備、保安林整備、造林事業)
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく居住誘導	松江市、雲南市	計画策定	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習、出前講座、研修、訓練等を通じた地域住民、企業等への意識啓発	中国地方整備局、鳥取県、島根県、各市町		
	住民への情報伝達手段の多重化等	鳥取県、島根県、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町	奥出雲町	鳥取県、島根県、出雲市、安来市、雲南市
	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援	鳥取県、島根県、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町	出雲市	鳥取県、島根県、雲南市、奥出雲町、飯南町

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

■事業規模

河川対策（約1,410億円）
下水道対策（約33億円）